

株式会社商船三井さんふらわあ 新造船さんふらわあ かむい就航
地球環境にやさしい LNG 燃料フェリー

1 月 17 日、大洗港フェリーターミナルにおいて、商船三井グループとして 3 隻目、北航路（大洗～苫小牧）では初となる新造 LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」の船内見学会および就航記念式典が開催され、本組合から田中伸一組合長代行、平岡英彦中央執行委員、高宮成昭関東地方支部長、荻山淳中央執行委員会企画室室長代行が出席し、組合員を激励した。

新造船「さんふらわあ かむい」は LNG 燃料を使用すること、さらには、斜め向かい風を推進力に利用する丸型の船首形状である ISHIN 船型を採用したことなど最新鋭の技術を搭載したことで、大洗～苫小牧航路に就航している既存船に比べ CO2 排出量の約 35%削減することを実現した。

また、モーダルシフトを促進し「物流の 2024 年問題」の解決に努める思いから、船の大きさを既存船より大きくし、トラックの積載スペースを拡張するとともに、客室の全室個室化を図ったことでトラックドライバーが快適に過ごせる空間を提供している。

一般旅客の客室としては 1 人旅向けの「コンフォート S シングル」や、2 人部屋で最大 3 人まで利用できる「コンフォート S ツイン」が設けられた。さらには、ベットと旅行したい人のためにドックランが設けられたほか、船旅をベットと一緒に過ごせる部屋「スーペリアウィズベットインサイド」が用意された。窓側の共用スペースにあるソファは、半個室をイメージしたデザインでコンセントがほぼすべてに設置されており、航行中の風景を楽しみながらくつろげるスペースとなっている。

一新された船体デザイン

船体デザインについては「さんふらわあ」の大きな特徴である太陽マークは残したうえで、これまでの白を基調とした船体とは異なり「かけがえのない地球と海を守り、受け継いできた伝統と新たに切り開いていく未来をつなぎながら、人々の暮らしを明るく照らし続けていきます」としたコンセプトから「青」をアクセントカラーとして「夜明けの海」と「新しい時代を照らす光」を表現している。

また、船名の「さんふらわあ かむい」については、アイヌ語で「神、魂のような大いなる力」を意味する「カムイ」に由来し、伝統と未来をつなぎ美しい海を守るという願いが込められ命名された。

「海員だより」